

ニューメキシコ大学研修プログラムへの参加

2020年2月10日～20日（9泊11日）の日程で、長崎大学学長裁量経費「長崎大学日本人学生海外短期派遣プログラム等支援事業」および文部科学省特別経費事業「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発（阪大事業）」からの補助金の支援を得て、長崎大学および広島大学の薬学部薬学科学生各1名が、アメリカ合衆国ニューメキシコ州のThe University of New Mexico (UNM) College of Pharmacyの研修プログラムに参加しました。

本プログラムは、①海外での臨床薬剤師の活躍を見学し、日本との差異を体験することでもって、高度先導的薬剤師の養成に資すること、②英語によるコミュニケーション能力、異文化に基づく多様性を理解する能力、自ら進んで討議に取り組む主体的な態度などを身に着けることにより総合的で実践的な英語能力を養うことを目的としています。

ニューメキシコ州は、50州の中で最も薬剤師の職域が広い州であり、事前に承認されたプロトコールの下で診断および処方を行う Pharmacist Clinician をはじめ、薬局薬剤師によるワクチン接種や避妊薬処方などが認められています。また、UNMは、これらの高度に教育された薬剤師の育成を担い、先進的な教育および実習システムを有しています。

参加学生は、UNM 病院薬剤部や Poison and Drug Information Center において薬の専門家として活躍する薬剤師、UNM Pain Clinic や Project Echo (遠隔カンファレンス

システム) においてチーム医療の重要な柱として活躍する薬剤師、Community Pharmacy において地域の最も身近な医療提供者として活躍する薬剤師のそれぞれの働きを知り、薬剤師が専門的な知識を活かし幅広い職域で活躍できる存在であることを実感することができました。さらに、アメリカや UNM の薬剤師教育システムやその成り立ちについて学び、UNM 薬学部の教員や薬学生と常に意見のやり取りを行い、日米の薬学教育システムの双方の強みや互いに学ぶべき点について自ら気付くことができました。

薬学部では、今後も UNM 薬学部との連携を強化し、双方の強みを活かした教育プログラムの構築を予定しています。

【研修内容】

- ・ 薬剤師の活躍する施設の見学
(一般薬局・UNM 病院薬剤部・Pain Clinic・Poison Control Center/Drug Information Center)
- ・ UNM キャンパスおよび UNM 薬学部および施設の見学
- ・ アメリカの薬剤師および教育制度についての説明および意見交換
- ・ 薬学部講義聴講(論文精読・薬物治療学)
- ・ 薬学部学生による心房細動スクリーニングテスト体験
- ・ 基礎研究者と日米の薬学部の研究教育について討議
- ・ ニューメキシコ州観光と文化体験



薬学部学生によるヘルスチェックの体験



一般薬局の先進的取り組みについての説明



キャンパスツアー



Poison and drug information center 見学



薬学部学生との食事会



ニューメキシコ観光